

よねさとづくり通信 No.161

よねさとづくり協議会
令和5年7月1日発行



町内会だより ～ 美和 ～

東は菌茸研究所（一般財団法人日本きのこセンター）、西は鳥取県農業試験場、南は、俗にいう里山。北は鳥取市街を望む田園風景。この地にあるのが米里地区西端に位置する美和地区である。

戸数28、人口約80人。日本の最先端をいく超高齢化集落。しかしながら豊かな土地、きれいな水。古墳の跡地に設置された施設、通称「水道山」。鳥取市の何割かの人口の貴重な水道資源を賄う施設。春になれば桜の花が咲き誇り、美しい風景を見せてくれます。新緑の時期は里山の緑がきれいです。米里、米の里と呼ばれる地区の美しい田園風景の代表といってよいほどの穀倉地帯（だいぶ大げさ）も鳥取市街の手前に展開します。一度ご覧いただければと思います。

（美和区長 植田昌人）



田植え後の田園風景

コロナ5類移行後、米里地区内でも様々な事業や活動が以前のように戻りつつあります。納涼祭などの行事で久しぶりの笑顔に会いたいですね。

区長部会では

6月11日（日）に第4回区長部会が開催され、鳥取市の令和6年度予算に向けた地区要望のとりまとめスケジュール等が示されました。また、10月に予定する米里まつりの開催方針など当面の取組みについて協議しました。

地区要望は、各町内会から7月18日（火）までに提出していただきます。

<主な協議内容>

- 町内会ごとにつながりを深めるための独自の取組を支援する町区特別配分金（上限1万円）の交付要項を定め、8月6日（日）を申請の締切とする。
- 「米里まつり2023」は昨年度の反省を踏まえて開催に向け、7月下旬に実行委員会を立ち上げる。

老人クラブの活動紹介

～ 雲山中央老人クラブ はまなす会 ～

会の発足時は20名以上の会員でしたが、現在は高齢化のため10名余で活動。町内会員で60歳以上が入会資格あります。自由で楽しい交流とちょっぴり地域のボランティアに手助けできる人待っています。

- ・いろいろ活動（小学校の下校見守りや共同作業、田植えや稲刈り、資源回収）
- ・お楽しみ（春と秋に日帰りの旅、週2日午後サロン会、会員誕生月にはケーキでお祝い）
- ・健康推進（民謡踊りと体操、麻雀教室、早朝グラウンドゴルフ）

会員の親睦と健康推進を皆で意見を尊重しながら活動しています。（会長 富山敬太郎）

大路山に登ってみました

6月17日（土）、区長部会や小学校教育後援会関係者等の有志16名で大路山（標高105m）に登りました。コロナ禍もあり、近年ボランティアによる草刈りができなかったため、登山道や山頂広場の現状を確認し、今後の取組みを考える目的でした。20分余りで山頂へ。休憩の際、眺望をよくし休憩スペースを確保するなど今後の取組みを話し合いました。大路山の自然を地域の宝として、身近にふれる企画や維持管理する対策など今後展開していきます。「人が歩けば道ができる」という言葉もあります。皆さん、一度いかがですか？

こちらで
動画がご
覧になれ
ます ⇒



ポンプ操法大会で健闘



コロナ禍で中止され、5月28日（日）に4年ぶりに開催された鳥取市消防団ポンプ操法大会に、米里分団もポンプ車操法の部に出場し、17チーム中8位の成績を収めました。

早朝や仕事を終えてから行われた訓練により、迅速で正確な操法の披露につながりました。皆さん、お疲れ様でした。



秋の紅葉狩り

お詫びと訂正：前号で子ども会の敷下会長のお名前を「真由美」と記載していましたが、正しくは「直由美」さんです。